24　　王に求められる力 　文法　使役形

ノ 有㆘リ 教㆔フル 　ニ 為㆓スヲ 不　死　之　道㆒ヲ 者㆖。王　使㆓ム 人ヲシテ **一レ** 之ヲ。所㆑ノ 使㆑ムル 学バ 者、未ダシテ㆑ 及㆑バ 学ブニ 而　客　死ス。①王　　、 。王　不㆑シテ 知㆓ラ 客　之　欺**一レ**クヲ 己ヲ、而　誅㆓スル 学ブ 者　之　㆒キヲ 也。レ 信㆓ジテ 不㆑ル 然ラ 之　物㆒ヲ、而　誅㆓スルハ 無　罪　之　臣㆒ヲ、不㆑ル 察セ 之　ヒ 也。㋐且　人ノ 所㆑ハ 急トスル無㆑シ 如㆓クハ 其ノ 身㆒ニ。不シテ ㋑能　ラ 使ムルコト其ノ 身ヲシテ無カラ 死、②　㆓ 長　㆒ 哉。

語注

客＝食客。特技や才能をもって他人の家に客として養われている人。

燕王＝春秋戦国時代の王。

不死之道＝不死の方法。不死の仙人になるための方法。

誅＝罪をとがめて殺すの意。

不然之物＝理屈の上からはあり得ないこと。

人所急＝人間にとって大事なもの。

【原文】

客　有　教　燕　王　為　不　死　之　道　者。王　使　人　学　之。所　使　学　者、未　及　学　而　客　死。王　大　怒、誅　之。王　不　知　客　之　欺　己、而　誅　学　者　之　晩　也。夫　信　不　然　之　物、而　誅　無　罪　之　臣、不　察　之　患　也。且　人　所　急　無　如　其　身。不　能　自　使　其　身　無　死、安　能　使　王　長　生　哉。

問一　次の「内容わしづかみ」の空欄に本文中の漢字を書き入れよ。

ある食客が燕王の臣下に〔　　　　〕の方法を教える途中で死んだ。王は〔　　　〕ってその臣下を罰した。このように、ありえないことを〔　　　〕じて、〔　　　　〕の臣下を殺すのは物事の見極めがよくないことによる損失だ。

問二　波線部㋐・㋑の読み方を、送り仮名も含めてひらがなで答えよ。（現代仮名遣いでよい。）〈4点×2〉

㋐〔　　　　　　　　　　〕　㋑〔　　　　　　　　　　〕

問三　チェック問題　使役形

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 遣㆓ム Ａヲシテ Ｂ㆒〔セ〕 | | 令㆓ム Ａヲシテ Ｂ㆒〔セ〕 | | 教㆓ム Ａヲシテ Ｂ㆒〔セ〕 | |
| Ａを派遣してＢさせる。 |  | Ａに命令してＢさせる。 |  |  | ＡをしてＢ〔せ〕しむ |

　⑴　次の表を完成させよ。〈1点×3〉

⑵　次の傍線部を現代語訳を参考に、書き下せ。 〈2点〉

魏武自出看、使人題門作活字、便去。 （世説新語　捷悟）

　（魏の武帝は自ら出かけて見ると、人に命じて門の扁額に「活」の字を書かせて、そのまま立ち去った。）

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問四　傍線部①とあるが、王は「所使学者」に対して、どのようなことを怒ったのか。二十字以内で答えよ。 〈12点〉

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問五　傍線部②について、

　⑴　書き下し文にせよ。 〈5点〉

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

　⑵　現代語訳せよ。 〈8点〉

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問六　本文の内容に合致するものを一つ選べ。〈12点〉

ア　燕王は客を信じようとせず、不死の方法を臣下に学ばせて、客を試した。

イ　燕王は、客が不死の方法を会得した人物であると、心から信じ込んでいた。

ウ　作者は、人間が不死の身体になるというのは、大切なことであると考えている。

エ　作者は、自分自身を不死にできないような臣下というのは、情けないと考えている。

〔　　　〕

【解答】

問一　不死　怒　信　無罪

問二　㋐＝かつ　㋑＝あたわ〈4点×2〉

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 遣㆓ム Ａヲシテ Ｂ㆒〔セ〕 | | 令㆓ム Ａヲシテ Ｂ㆒〔セ〕 | | 教㆓ム Ａヲシテ Ｂ㆒〔セ〕 | |
| Ａを派遣してＢさせる。 | ＡをしてＢ〔せ〕しむ | Ａに命令してＢさせる。 | ＡをしてＢ〔せ〕しむ | Ａに教えてＢさせる。 | ＡをしてＢ〔せ〕しむ |

問三　⑴　〈1点×3〉

⑵　人をして題して門に活の字を作さしめ〈2点〉

問四　不死の方法を食客に学ぶのが遅かったこと。（20字）〈12点〉

問五　⑴　安くんぞ能く王をして長生せしめんや。〈5点〉

⑵　どうして王に長生きをさせることができようか、いやできない。〈8点〉

問六　イ〈12点〉

【現代語訳】

　食客で燕王に不死の仙人になるための方法を教える者がいた。王は臣下に命じてこれを学ばせた。（しかし）学ばせた者が、まだ（不死之道を）学び終わらないうちに、食客が死んでしまった。王は大変怒って、これ〔＝学ばせた者〕を殺した。王は食客が自分を騙していたことを知らずに、学んでいた者が遅いことを理由に（その家臣を）殺したのである。そもそも、道理に合わないこと〔＝不死之道〕を信じて、無罪の家臣を殺すのは、物事をよく見ないための災いである。その上人間にとって大事なもので、自分の命に及ぶものはない。自分で自分の身を不死にさせることができなくて、どうして王に長生きをさせることができようか、いやできない。

【書き下し文】

のにのをすをふるり。をしてをばしむ。ばしむるの、だぶにばずしてす。いにりて、をす。のをくをらずして、ぶのきをするなり。れらざるのをじて、のをするは、せざるのひなり。つのとするはのにくはし。らのをしてからしむることはずして、くんぞくをしてせしめんや。

【補充問題】

問１　「王使人学之。」（１～２行目）に訓点を施せ。

問２　「客之欺己」（３行目）の具体的な内容として最も適当なものを選べ。

ア　食客が燕王をだますために向かったということ。

イ　食客が燕王に不死の方法を教えると言ったこと。

ウ　食客が学習者をだますために向かったということ。

エ　食客が学習者に偽の不死の方法を教えていたこと。

問３　「不然之物」（４行目）とは、どのようなことか。最も適当なものを選べ。

ア　不自然な行為

イ　無理をした学び

ウ　理不尽な命令

エ　道理に合わない言葉

問４　「無如其身」（５行目）を現代語訳せよ。

【補充問題解答】

問１　王　使㆓ム 人ヲシテ **一レ** 之ヲ。

問２　イ

問３　エ

問４　自分の命に及ぶものはない。